

ネギのシロイチモジヨトウに対する各種殺虫剤の殺虫効果の検討（第2報）

1 情報・成果の内容

（1）背景・目的

本県ネギ栽培における重要害虫でネギの葉身に食入し加害するシロイチモジヨトウに対して高い防除効果を示す9剤を2023年度の新しい技術第62集で報告した。2024年度に新しく検討した3剤について報告する。

（2）情報・成果の要約

- 1) 2024年度に3剤を供試した結果、クロルフェナピル水和剤（商品名：コテツフロアブル）は高い防除効果が見られた。
- 2) 2年間の試験の結果、下記の10剤が高い防除効果が見られた（表1）。

表1 高い防除効果を示した剤の一覧

薬剤名（商品名）	希釈倍率	IRAC
スピノサド水和剤(スピノエース顆粒水和剤)	5,000	5
スピネトラム水和剤（ディアナSC）	2,500	5
インドキサカルブ水和剤（トルネードエースDF）	2,000	22A
メタフルミゾン水和剤（アクセルフロアブル）	1,000	22B
テトラニリプロール水和剤（ヨーバルフロアブル）	2,500	28
クロラントラニリプロール水和剤（プレバソンフロアブル5）	2,000	28
シアントラニリプロール水和剤（ベネビアOD）	2,000	28
フルキサメタミド乳剤（グレーシア乳剤）	2,000	30
プロフラニリド水和剤（プロフロアSC）	2,000	30
クロルフェナピル水和剤（コテツフロアブル）	2,000	13

2 試験成果の概要

- （1）人工飼料（インセクタ LFS）を用いた食餌浸漬法により試験を行った。
- （2）供試虫はシロイチモジヨトウ3齢幼虫（2023年に弓浜干拓白ネギほ場より採取し、累代飼育個体）で試験を行った。
- （3）クロルフェナピル水和剤は処理7日後で死虫率90%以上の高い防除効果が見られた（表2）。
- （4）2年間の試験の結果、スピノサド水和剤、スピネトラム水和剤、インドキサカルブ水和剤、メタフルミゾン水和剤、テトラニリプロール水和剤、クロラントラニリプロール水和剤、シアントラニリプロール水和剤、フルキサメタミド乳剤、プロフラニリド水和剤、クロルフェナピル水和剤は処理7日後で死虫率90%以上の高い防除効果が見られ、フルフェノクスロン乳剤、ルフエヌロン乳剤は死虫率20%以下で殺虫効果が低いと考えられた（表2）。

表2 シロイチモジヨトウに対する各種薬剤の殺虫効果（2023年、2024年）

試験実施 年度	薬剤名	希釈 倍率	供試 虫数	平均死虫率（％）		
				処理 1 日後	処理 3 日後	処理 7 日後
2023年度	スピノサド水和剤	5,000	60	90.0	96.7	100
	スピネトラム水和剤	2,500	60	96.7	100	100
	エマメクチン安息香酸塩乳剤	1,000	60	63.3	71.7	71.7
	フルフェノクスロン乳剤	4,000	60	0	0	3.3
	ルフェヌロン乳剤	2,000	60	0	6.7	13.3
	インドキサカルブ水和剤	2,000	60	75.0	83.3	91.7
	メタフルミゾン水和剤	1,000	60	68.3	86.7	90.0
	テトラニリプロール水和剤	2,500	60	76.7	88.3	100
	クロラントラニリプロール水和剤	2,000	60	61.7	76.7	98.3
	シアントラニリプロール水和剤	2,000	60	68.3	83.3	100
	フルベンジアミド水和剤	2,000	60	46.7	66.7	88.3
	フルキサメタミド乳剤	2,000	60	95.0	100	100
	プロフラニリド水和剤	2,000	60	95.0	100	100
	ピリダリル水和剤	1,000	60	6.7	65.0	88.3
	無処理	-	60	0	0	0
2024年度	エマメクチン安息香酸塩・ルフェヌロン水和剤	1,000	30	56.7	73.3	76.7
	BT水和剤	1,000	30	0	13.3	73.3
	クロルフェナビル水和剤	2,000	30	80.0	96.7	100
	無処理	-	30	0	0	0

3 利用上の留意点

- （1）本試験は実験室内での試験結果のため、実際には場で使用した際の防除効果と異なる可能性がある。

4 試験担当者

環境研究室 研究員 竹中 春人
研究員 鈴木 祐※
※退職
室 長 米村 善栄※
※現 園芸試験場 次長
室 長 北山 淑一